

南三陸町長 来庁



11月5日、南三陸町の佐藤町長が原村役場を訪れ、望月原教育長や村職員と会談しました。会談後は、広報の取材に快く応じてくださいました。



質 現在の復興状況をお話いただけますか。

答 私は「教育・医療・利便性」が町おこしに必要な要素と考

えているのですが、このうち学校教育関係と病院はほぼ復興が完了できたといえるでしょう。市場の水揚げ量も震災前を上回り、活力に繋がっていると思います。その一方で、震災により災害公営住宅や高台団地へ入居した方は、未だ半数以上がそこで生活をしています。農業復興や土地区画整備等も更に進めていき、利便性を整えていきたいと考えています。

質 10月1日で南三陸町10周年を迎えられたとお聞きしました。今後の取り組みについてお願いします。

答 合併から10年、そのうち5年は震災の対応で終わりました。これからの2~3年が復興を完遂するにあたり重要になってきます。人口問題や子育て支援にも力をいれていきたいと思っています。



心をひとつに奏でよう 原小学校音楽会

10月29日、小学校で音楽会が行われました。音楽会は全校合唱の「星降る里」から始まり、児童たちは息の合った合奏・合唱を28のプログラムで披露し練習の成果を発表しました。6年生は最後の音楽会ということで、クラス合奏、学年合唱ともに心のこもった素晴らしい発表を披露してくれました。



文化・芸術・芸能の祭典

10月31日~11月1日、社会体育館で村民文化祭が行われました。習字や盆栽、絵、写真など様々な作品が展示され、会場では作品を見ながら語り合う姿があちこちで見られました。31日には、中央公民館で芸能フェスティバルが行われ、小中学生や一般の音楽・芸能団体が17のプログラムで成果を披露し、会場をわかしました。



アルミ缶収益金贈呈式

10月31日~11月1日、中央公民館でアルミ缶収益金の贈呈式が行われ、民生児童委員の皆さんが苦労して集めたアルミ缶の収益金を6つの福祉施設へ贈られました。

- 一贈呈先
- 原村社会福祉協議会
- 老人保健施設さくらの
- 原村悠生寮
- 有限会社とみさと
- 誠心会アイリス
- 社会福祉法人ひなたぼっこ

小さな魔女とハッピーハロウィン☆



10月28日、未就園児と保護者を対象にした「あひるクラブ」でハロウィンを行いました。会場には、ドラキュラや魔女、お姫様、カボチャのお化け等、思い思いの衣装をした親子が集まりました。クラブではお菓子を入れるバスケットを手作りし、館職員にお菓子をもらったり、記念撮影をしたりして盛り上がっていました。

税未収金縮減率 県内1位 納税の意識改革へ繋ぐ



11月18日、県の税務行政、主に個人県民税の徴収に貢献したとして、原村に知事感謝状が伝達されました。村では、村税の収納率が平成26年度の決算で99%を超え、平成22年度末より5%アップ(約4,400万円の増収)となりました。この収納率のアップには、県税徴収対策室松本分室との連携、差し押さえ財産の公売といった滞納処分の強化が大きな要因となっています。中でも滞納繰越金の収納率は、県内で群を抜いており、これによって2009年度から5年間の未収金縮減率は、県内1位という成果を上げました。

平成27年度 原村表彰式



100歳のご長寿 おめでとうございます

10月27日、村内在住の五味初美さんが28日に100歳の誕生日を迎えられることを祝して誕生会が開かれました。五味村長から表彰状が、原村デイサービスの皆さんからお祝いの品が贈られ、五味さんは「ありがとうございます」と嬉しそうに受け取っていました。その後、参加者全員で誕生日の歌をうたい、拍手で会を締めくくりました。



11月6日、平成27年度原村表彰式が行われました。村長として4期16年在職し退任された清水澄さん、村議員に3期12年在職された木下貞彦さん、長谷川寛さん、村職員に25年以上在職し退職された三井香菊さんら8名の、計11名の皆さんに自治功労の表彰状が手渡されました。また、多額の私財を寄付された清水澄さん、小林昌尚さんに感謝状が贈られました。